

公表： R5年 6月27日		事業所における自己評価結果			事業所名：放課後等デイサービス シャロム	
	チェック項目	はい	どちらとも言えない		現在工夫している点	改善内容又は改善目標
			いいえ			
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3			シャロムは十分広いスペースで活動できている。	
	2 職員の配置は適切であるか	1	1	1	月曜日の基準人員が足りていないので、しばらく閉所している。	早急に対応する。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切にされているか	1	2		入口に段差があり、スロープなどが無い。ロビーに降りるのに階段がある。	現状肢体不自由の利用児童がいないため、スロープなどの設置をしていない。保護者に確認し、施設で過ごすことが難しい利用者には見学时に現状を伝える。
業務改善	4 業務改善を進めるためにPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	2	1		児発管を中心に、日々の支援や計画書の見直しを定期的に行っている。	引き続き、日々の振り返りで目標設定と振り返りを行う。
	5 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	2	1		保護者向けにアンケートを取ったのは今回が初めてだが、毎日利用児童の情報収集or交換を行うなど、コミュニケーションをとるようになっている。	今回行ったアンケートの結果を踏まえて迅速な改善に努めていく。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	2				近日中に公開予定。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	1		法人の監事をお願いしている。	引き続き第三者からの外部評価を検討する。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3			支援に関する研修や様々な研修を事業所内外で行っている。	今後も継続して行っていく。
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	3			保護者との面談や職員との話し合いをもってサービス計画を作成している。	今後も継続していく。
適切な支援の提供	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2			STが必要な子には言語検査を実施している。その他、標準化されたアセスメントシートを用いてアセスメントを行なっている。	利用者それぞれのアセスメントシートを元に支援を行っているが、今一度情報共有を行う。
	11 活動プログラムの立案をチームで行なっているか	3			毎日行なっている15分活動は一ヶ月前に職員同士で話し合いをしている。	これからも継続して一ヶ月の活動目標をもとに支援につながる活動を提案していく。
	12 活動プログラムが固定化されないように工夫しているか	3			毎月異なる活動を行っている。内容を決める際には、個別の対応を行なっている。	これからも活動が固定化されないように、季節の活動や新しい遊びの工夫を行う。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3			利用児童が主体となって1日の活動を決めている。早下校や長期休暇中は課外学習を多く取り入れている。	継続して、支援を行っていく。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	3				
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	2	1		毎朝行っている職員会議の際に打ち合わせをしている。	職員会議の際にその場にはいない職員のために会議ノートやメッセージアプリを用いて職員間の情報共有を徹底する。
	16 支援終了後には、必ず職員間で打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	1	2		その日ではなく、翌朝朝礼で振り返りを行なっている。	朝の職員会議の際に前日の活動の反省や利用児童の様子などを共有する。
	17 日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか	2	1		日々の支援の振り返りを通して検証・改善をしている。	支援の内容や気になった部分は記録を取り、職員間で情報共有を心がける。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	3			半年に1度サービス計画の見直しを行っている。	引き続き職員全員で見直しを行っていく。
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	3				
20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最も相応しいものが参画しているか	3					

保護者への説明責任等	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	3		学校面談、電話連絡、送迎時などでなるべく多くの情報共有ができるようにつとめている。	送迎時に学校の先生と学校での様子などを共有を行っている。事業所での様子など必要があれば学校面談を実施している。		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			2	今回のアンケート調査を受けて、子どもの主治医等との連絡体制が不十分だと感じた。早急に確認をとり、改善に励む。		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報交換と相互理解に努めているか	1	1	1	状況に合わせて対応している。	必要があれば他機関との面談を行う。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス等事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	1		該当利用者がいない。		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	1		職員が現在SV(発達障害者支援専門員)の養成研修を受けている。		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3			地域のイベント活動に参加している。〇〇教室、ゴミ拾いボランティアなど。	今後も事業所内での教室の開催や地域のボランティア活動などに積極的に参加し、交流の機会を増やしていく。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	2	1		由布市子ども支援部会に毎回参加している。シャロムは湯布院エリアのエリア長をつとめている。		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	3			お迎えの際に、学校での様子、シャロムでの様子を伝える時間をとっている。	今後も利用児童の送迎時に学校、事業所内での変化など些細なことでも伝え、共通理解に努める。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1			2	資格を持った職員はいないが、STの療育内容の共有や家庭で行える療育について伝えている。	これからも積極的に情報共有などを通じてお知らせをしていく。
	30	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3				支援計画の見直しの時に、説明を行っている。	これからも責任者が丁寧な説明ができるよう努めていく。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	2	1			保護者と話す機会を多く持ち、保護者の気持ちに寄り添うように心がけている。	事業所のサービスの幅を越えるような内容の時には外部の専門機関からの助言などを用いて対応する。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		2	1		現在はコロナの影響もあり実施していない。	利用している保護者とは話し合いを行い、今後実施していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	2	1			今回のようなアンケートを取ることで本音が出せるよう工夫していく。苦情があった際には職員間で共有し、迅速に対応する。	これからも苦情などがあった場合には職員間での情報共有を行い、迅速に対応していく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	1	2			一ヶ月の活動予定は月初めにお知らせしている。日々の様子や行事予定はその都度LINEやSNSでお知らせしていく。	現在、新聞や会報の準備を検討している。
35	個人情報に十分注意しているか	2	1			学校からの情報、家庭からの情報は、職員で共有し外部に出さないようにしている。	今後も個人情報の取り扱いには十分に注意する。	
36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	2	1			絵カードや文字カードを使って意思表示の機会を増やしている。	より本人の思考や考えを引き出せるような方法を検討していく。	

	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3		絵画教室や、クリスマス会、デザイン教室、料理教室を開催し、地域住民との交流の場を設けている。	これからも地域の方々との交流の場を設けていく。	
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		3	マニュアルの作成はしているが周知までできていない。早急に対応する。	すべての職員が共通認識を持てるよう、再度研修などを用いて対応する。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行なっているか		3	半年に1回のペースで避難訓練の実施をしているが、全員揃った時にできていない。再度計画し実施する。	避難訓練の計画をたて、利用すあの多い日に実施する。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3		虐待防止委員会を法人の中で定め、研修や話し合いを重ねている。	引き続き委員会を設置し、研修を行う。	
非常時等の対応	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了承を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	2	1	支援計画に記載し、面談時に説明、了承を得ている。	継続して毎日の職員会議の際に身体拘束など行っていないかの確認を行なっていく。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			2	契約時に保護者に確認をおこなっているが、医師の指示書ではない。	アレルギーの利用者がいる場合、必要に応じて病院と連携を行う。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3		毎日の職員会議で確認し、ヒヤリハットのファイルも作成している。ヒヤリハットがあった場合は記録を残している。	事例集は作成できていないので、早急に作成する。	